

【実施日時】 6月7日19:00～6月8日5:00

【天候】 晴→曇り 【気温】 15℃～8℃

【月齢】 26.3→27.3

【実施方法】 灯火採集法（ライトトラップ）

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000m～1300mの高原盆地です。有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です¹⁾。5月13日～14日に引続き6月7日～8日に第3回目の蛾類分布調査を実施したので報告します。夜間も晴、放射冷却状態となりました。飛来した蛾類の一覧表を表示します。飛来した蛾類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました²⁾。有峰に分布するヤママユガ科は、オオミズアオ、オナガミズアオ、ヤママユガ、ウスタビガ、クロウスタビガ、クスサン及びヒメヤママユの8種が知られています¹⁾ 今回の調査ではヤママユガ科8種のうち、オナガミズアオ♂が20:30過ぎの比較的早い時間帯に飛来しました。春の3大蛾のうち、イボタガ科のイボタガが夜中2時過ぎに飛来しました。シャチホコガ科は65種が同定されています¹⁾。シャチホコガ科では、ブナアオシャチホコ他（未同定含む）が飛来しました。ヤガ科は既に340種が同定されています¹⁾。今回はヤガ科の飛来はほとんどありませんでした。シャクガ科は既に225種が確認されています¹⁾。今回シャクガ科の飛来はほとんどありませんでした。前回はスズメガ科ではクロホウジャクが飛来しましたが、今回は飛来しませんでした。ヒトリガ科は27種が同定されています¹⁾。今回、アカハラゴマダラヒトリ、フトスジモンヒトリ及びアカスジシロコケガが飛来しました。また、コブガ科のアオスジアオリンガやカレハガ科のリンゴカレハも飛来しました。蛾類も初夏の蛾にシフトしつつあります。今後も有峰に分布する寄主植物（食樹）との関係も含め、蛾類の分布調査を続けていきます。

【引用文献】

- 1) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊（昭和56年7月）
- 2) 岩田泰則著：日本蛾類標準図鑑ⅠⅡ/学研
- 3) 岩田泰則他著：日本のヤママユガ/（有）むし社

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユガ	オナガミズアオ	♂ 2	20:30～21:00
	ブナアオシャチホコ	♂ 2 ♀ 2	20:00～23:30
シャチホコガ	シャチホコガ	♂ 2	20:30～22:00
	種未同定 5 種		21:00～2:00
イボタガ	イボタガ	♂ 1	3:00頃
ヒトリガ	アカハラゴマダラヒトリ	♂ 3 ♀ 1	22:00～24:00
	フトスジモンヒトリ	♂ 1	23:30
	アカスジシロコケガ	♂ 1	23:00
カレハガ	リンゴカレハ	♂ 6 ♀ 3	21:30～1:30
コブガ	アオスジアオリンガ	♂ 1	23:30



点灯後のライトトラップの様子



飛来したオナガミズアオ♂



飛来したオナガミズアオ♂



飛来したイボタガ♂



飛来したイボタガ♂



飛来したリンゴカレハ♂



飛来したアオスジアカリंगा♂



飛来したシャチホコガの一種



飛来したシャチホコガの一種



飛来したフトスジモンヒトリ



飛来したアカスジシロコケガ



飛来したシャチホコガの一種